

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	びあキント		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 22日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年 10月 22日		R6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○他職種(心理師等)の職員の配置があり、情報共有や研修をする中で、療育内容を様々な視点から考えている。	○日々の中から、子どもの状態や対応の仕方等を伝え合い、どのような関わり方が良いかを話し合っている。 ○研修をする中で、様々な視点からの内容を学ぶことができる。 ○チューター制度を実施し、お互いに学び合う機会を設けている。	○研修の機会をさらに設け、日々の子どもの関わり方の向上を狙いたい。 ○他職種の情報共有を含めて、更に様々な情報共有や発達についての知識を伸ばしていく。
2	○個別療育と小集団療育を、発達段階に合わせた内容で毎セッション取り組んでいる。又、ピアノを使用しての活動(音楽療法、季節の歌)を取り組むことで、音楽が流れる時間が多くみられる。	○小集団活動の内容は、セッション毎に児童発達支援管理責任者と確認をして取り組んでいる。 ○療育内容の確認を、チューターと行いながら意図に合った支援ができるように努めている。 ○音楽療法の内容や、季節の歌は、週毎や季節に合わせて変更して様々な歌に馴染めるようにしている。	○更に、療育の取り組み方をチューターと確認する上で、取り組むバリエーションを増やして活動の幅を広げていくと共に、療育の取り組み方を日々見直しながらよりよい療育内容を提供できるように努めている。
3	○送迎を保護者様にさせていただいていることで、情報共有をこまめにしている。又、悩み事等に対しても、解決策を共に考えている。	○送迎の際に、家庭や学校、園での様子を傾聴できるように心がけている。又、職員間でも情報共有できるようにしている。 ○悩み事等に対しては、児童発達支援管理責任者と共に確認をしてアドバイスをできるようにしている。	○日々の情報共有を心がけ、子どもや保護者様の困りごとを聞けるように、引き続き努めていく。 ○困りごとに関しては、根拠のある内容を、できるだけ早く対応できるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○送迎がない。	○職員配置等や安全面等から検討する内容が、今の現状を含めて今後の取り組みを検討していきたい。	○送迎の必要性等を確認する中で、現状で取り入れられるようであれば検討していきたい。
2	○玩具や遊びの提供が、偏っている。 ○プレイルームでの充実度が弱い。	○要求があった玩具や遊びを主に行っていることもあり、同じ遊びの提供をしていることがある。	○遊びに対しての研修や、チューターとの確認の中で、知識の向上を目指していきたい。
3	○地域との交流が少ない。	○普段は、地域の学校や園等に通われている子どもが多いため、療育の中での交流は取り組んでいない。また、施設内で行える療育をメインに発達を期待しているため。	○学校や園との連携も、必要に応じて取り組んでいけるよう努めていく。